

あじいっかく
宇治交配
味一角

美味しさにこだわった、豊産種！

特 性

- ① 果長は 20~22 cm になり、収穫期を通して尻太り果や曲がり果の発生が少なく果揃いがよいので選別が楽です。
- ② 果色は濃緑でツヤがあり、口にすると歯触りが良く、きちんとキュウリの味がする、甘味のある美味しい品種です。
- ③ 主枝雌花率は 3~5 月までで 60% 程度、6~8 月までで 40~50% になり、各節 1 果成りが主体です。収穫期を通じて波が少なく草勢も安定しているためハウス雨よけ、トンネル、露地栽培に最適です。
- ④ 葉は濃緑の小葉で立葉になり、太陽光を受けやすくなっています。また、整枝・収穫作業などの管理が行いやすいです。



栽培のポイント！

- ① よいキュウリを作るために根を広く張らせるには健全で地力のある土作りをする事が重要になります。完熟堆肥を十分に入れ、深耕することで土相のリフレッシュを計ります。
- ② 施肥は元肥を主として窒素、リン酸、加里を 10 a 当たりの成分量でそれぞれ 30kg 程度を目安にします。
- ③ 定植には本葉が 3 枚程度の健全若苗を心がけましょう。早植(低温時の定植)では、マルチングを早めに行い地温を十分に上げておきます。
- ④ 草勢を見ながら 4~6 節程度の側枝・雌花を速やかに除去します。これ以降の側枝は 1~2 節で摘心し、孫枝は草勢に応じて摘心しますが生育期を通して常に生長点が大きく健全な側枝が 3~4 本あるように管理します。
- ⑤ 適葉は側枝の発生具合を見ながら 1 回あたり 1~3 枚を限度に行います。主枝雌花率が高く初期から収量が多いので追肥は早めに施すようにします。肥切れ、成り疲れをさせないように心がけましょう。
- ⑥ 病害虫の防除は、早期発見、対策に尽きるため発生状況をよく観察して的確な薬剤防除に努めましょう。

左記標準栽培表を参考に貴地の気候に合わせて栽培してください。

	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
ハウス雨除け	●	×	—	—	—	—	—	—	—	—
トンネル		●	×	—	—	—	—	—	—	—
露地			●	×	—	—	—	—	—	—
抑制					●	×	—	—	—	—

● 播種 育苗 × 定植 — 生育 〰️ トンネル □ 収穫